

日常生活を“気づいて 知って 見つめよう”～“育て！エコステップでエコハート！！” 広西エコっちょお！！2015～

「広西エコっちょお2015」成功に向けて

これまでの環境課題の把握～3つのエコステップを明確にする～

① 人や物を大切に

日頃から環境と関わって生活していることを、さらに全校一人ひとりが、**気づいて**いけるようにする。

エコステップ① 気づく

② 人との繋がりを大切に

さらに環境のことを知り、自分や周りの人々の生活が向上していくようにする。

エコステップ② 知る

③ 人と自然や地域を大切に

自分たちを取り巻く自然や地域を見つめ、未来も自然や地域を守っていくようにする。

エコステップ③ 見つめる

そこで・・・

「育て！エコステップでエコハート！！」～学校版環境ISO重点項目～

エコステップ① 気づく→日常の生活が環境活動だと気づく

○6つのエコっちょお活動

- ・委員会でエコっちょお
- ・落とし物0でエコっちょお
- ・環境体験でエコっちょお
- ・クラスでエコっちょお
- ・家庭と地域でエコっちょお
- ・節約4Rでエコっちょお



エコステップ② 知る →人のくらしを知る

○水俣から学ぶ活動



エコハートをさらに大きく

エコステップ③ 見つめる →自然や地域を見つめる

○広西校区のエコ宝
○広西水基プロジェクト

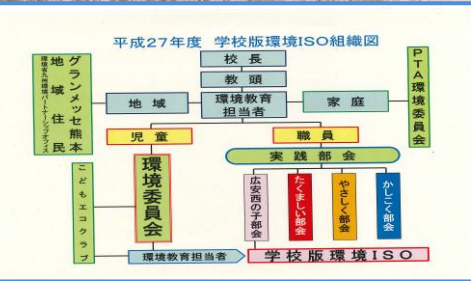
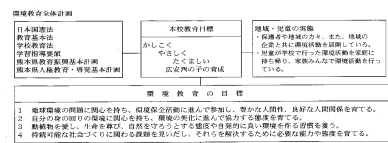


そのための計画として

広安西小学校版環境ISO実行に向けての計画と組織作り

○環境教育全体計画では、学校版環境ISO、水俣に学ぶ肥後っ子教室、持続可能な開発のための教育（ESD）の3つが相互に連携していくように作成した。

○組織図では、家庭や地域との連携を強化し、三者が一体となって活動ができるように作成した。



広安西小学校 学校版環境ISO宣言目標

【全校行動目標】

- 水・電気の節約に努め、ごみを減らし、資源を大切にします（気づく）
- 環境のことを心がけます（知る）
- 川やわき水をきれいにし、校区の自然を守ります（見つめる）

【職員行動目標】

- 職員室の節電・シャットダウンを心掛けます
- 紙の節約を心掛けます

より具体的な目標を！！

【数値目標】

- ① 電気代を前年比毎月1万円少なくする
- ② 水道代を前年比毎月1万円少なくする
- ③ ごみの量は毎日15kgを超えないようにする



こんな取組をしよう！！

【手立て】

- 電気代を少なくするために、必要以外の電気を消す
- 水道代を少なくするために、蛇口をきちんと閉めるように呼びかけていく
- 校内のごみを減らすために、まずは自分の持ち物を大切にし、ごみにしないようにしていく

全校行動目標では、3つの宣言目標と「気づく・知る・見つめる」の3つのエコステップと結びつけた。結びつけることで、さらに全校で環境活動が取り組みやすくなるようにした。

職員行動目標では、職員がよく使う電気や紙に焦点を当て、それぞれの節約に日頃から心掛けるようにしている。



(職員のシャットダウン)

2

行

動

広西エコっちょお2015～日常生活が環境活動だと気づくための6つの行動～

全校行動目標「水・電気の節約に努め、ごみを減らし、資源を大切にします」の項目を、全校で取り組む学校版環境ISOの基本目標として位置づけ、全校に日々の生活が環境活動であることに気づいてもらえるような6つの活動を展開している。

① 委員会でエコっちょお

学校生活を支える15の委員会すべてが、環境目標を掲げて活動している。

- ベルマーク委員会→カードリッジなどを集め、ごみを減らす
- ボランティア委員会→落ち葉はききなどをして学校をきれいに
- 整備美化委員会→自分の持ち物に名前を書き、落とし物を減らす
- 掲示委員会→無駄な紙をださないようにする
- 放送委員会→放送室にある放送スイッチを消す
- 給食委員会→ご飯を残さず食べる・牛乳パックを小さくしたむ
- 音楽委員会→みんなを元気にさせる
- 環境委員会→全校の環境意識を高める
- 栽培飼育委員会→ぬいた草を肥料にする

- 生活委員会→物には名前を書いて使えなくなるまで使う
- 体育委員会→ボールなどの遊び道具を大切にしながらごみを減らす
- 人権委員会→給食時のパンの袋にごみを入れ、結んで捨てる
- 保健委員会→ほみがきや手洗いの時は水をださばなしにしない
- 図書委員会→本がいたまないように本だなのせいをします
- 運営委員会→再利用できるものは再利用します



(牛乳パックを小さくする・給食)



(朝の清掃活動・ボランティア)

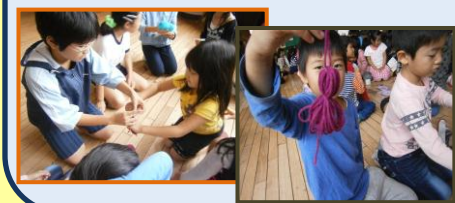
② 環境体験でエコっちょお

○紙の切れ端でしおり作り
画用紙など、いらなくなった紙の切れ端を使って本のしおりを作る活動を行っている。



○たこさんたわし作り

アクリル毛糸をたこ状にしてたわしを作る活動である。2、3人が一組になって行う場面があり、異学年での交流が積極的に図られていた。



環境体験活動は、環境に興味を持ってもらうこと、異学年との交流を図ることの目的で行っている。環境委員会の児童が呼びかけを行い、昼休みに集まってもらい活動を進めている。

○環境クイズ

校内の色々な場所に環境に関する問題を貼り、問題を解くという活動である。解いたら環境委員から答え合わせをしてもらい、環境名人証が手渡されていた。



他にも環境委員会の児童が本校の環境課題についてを紙芝居にして作成した。全校の環境意識向上に繋げていきたい。



③ 家庭・地域とエコっちょお

○親子美化作業

美化作業では親子で草取りを行った。集めた草は自然に堆肥されている。



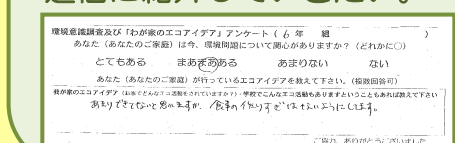
○有価物回収

有価物回収では、回収した有価物を各地区の公民館等に集め、分別活動を行った。



○エコアイデア募集

家庭向けに出している環境通信より、エコアイデアを募集した。たくさんアイデアを頂いており、環境通信で紹介していきたい。



○地域の企業との連携

本校は地域の企業、「グランメッセ熊本」と共同環境活動を行っている。グランメッセ熊本の環境見学を行い、見学してまとめたことを校内に掲示している。



④ 落とし物0でエコっちょお

本校の環境課題の一つとして、校内の落とし物があげられる。環境委員会が、校内の落とし物を各クラスに持って行き、確認してもらっている。少しずつ落とし物が少なくなってきた。



⑤ クラスでエコっチャお

各委員会と同様、各クラスでも環境目標を決めている。全校環境目標を基に、クラスの実態に合わせて環境目標を決めている。全クラスの目標は、校内に掲示し、全校が分かるようにしている。



⑥ 節約4Rでエコっチャお

本校の基本3つの環境活動である。この環境活動を今年度はさらに大切に活動の展開を図っている。

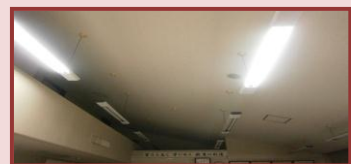
○水の節約の取組

蛇口を下に向けて、水を出し切った状態にすること、掃除時間はばけつに水を汲んで雑巾洗いをすることを徹底している。



○電気の節約の取組

給食や昼休みでは必要以外の電気は消すことを全校に呼びかけ、徹底を図っている。



○4Rの取組

リデュース・リユース・リサイクルの3Rにリファイン（分別）を加えて4Rとし、ごみを減らす手立てとして全校に呼びかけている。



水俣から学ぶ活動～日常生活そのものが環境活動である水俣を知る～

全校行動目標「環境のことを心掛けます」の項目を、「水俣で学ぶ肥後っ子教室」の学習を中心として位置づけ、日常生活そのものが環境活動である水俣の人々の暮らしを知る活動、そして知ったことを人に伝える活動を行っている。

日頃から水俣を知る

全校に水俣の人々の暮らしを知ってもらおうと、水俣で取り組んでいる21分別の写真を校舎内に掲示し、自分の生活と重ねたり、水俣の人々の暮らしについての理解を図ったりしている。



水俣を知り、自分の生活へ

水俣について、児童・職員が詳しく学び、自分の生活をふり返る機会になった。

○児童の学び

5年生児童は実際に現地に行き、水俣でくらししている人々の生活を知り、人々の思いにふれた。自分の生き方や生活を考えるきっかけとなった。



○職員の学び

職員の環境教育研修、並びに水俣現地学習により、これまで知らなかった水俣の人々の暮らしを学ぶ良い機会となった。



知ったことを伝える

5年生児童は、現地学習で学んだことを共に学んだ友だちや保護者、他の学年の児童に伝える活動を行った。自分の考えを一生懸命伝えていた。



(保護者の方に伝える)



(4年生に伝える)

地域の宝を未来へ！！～自然や地域を見つめ、未来へ残そう～

全校行動目標「川やわき水をきれいにし、校区の自然を守ります」の項目を、「持続可能な開発のための教育（ESD）」の学習を中心として位置づけ、地域の自然や文化財を未来を見据えて大切にしていこうと活動を行っている。

広西校区のエコ宝

校区のお気に入りの場所や美しい場所、守っていききたい場所などを全校児童や職員を対象にアンケート調査を行った。学校から見る風景や地域の文化財など、たくさんの意見を集めることができた。



広西水基プロジェクト

阿蘇からの湧き水が、校区にも出ていることから、この湧き水を守ろうと環境委員会が中心となって活動を進めている。

○広西湧き水サミット

地域の方と湧き水について交流を図った。人と湧き水の生活について詳しく聞くことができた。



○湧き水周辺清掃活動

環境委員会の児童が、継続的に湧き水周辺の清掃活動を行っている。児童も湧き水を未来へ守っていききたいと感じている。

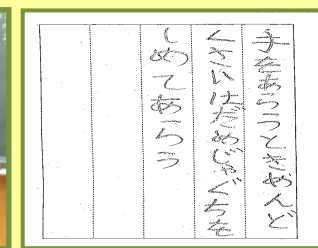


環境教育授業実践より

2年生では「広西水基プロジェクト」と関連させ道徳の授業で湧き水など水環境を守っていく学習を行った。(出典：「熊本の心」低学年「ろ花さんとぶくぶく水」自然愛3- (2) 関連項目3- (3))



(2年生の授業より)



(2年生のシートより)

3 記 録

記録では、本校が基本としている3つの環境活動、水や電気の節約、ごみを減量する取組について、定期的にチェックを行っている。

水・電気の節約チェック

水や電気の節約チェックについては、主に給食後から昼休みにかけて行っている。



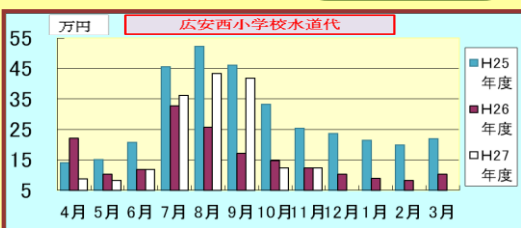
各学年とも水を使う量が減ってきているのが記録されていて分かります。



電気と水の節約について、チェックしたらみんなが見えるボードに記録します。

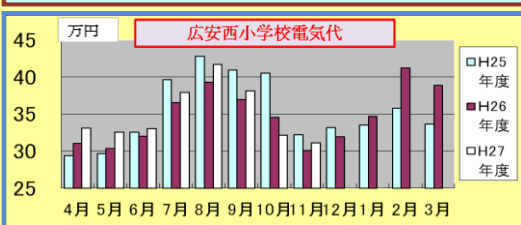
(水道代のグラフより)

過去3年間のグラフでは、徐々に減ってはいるものの今年度は、夏の水の利用の仕方に課題が残った。夏は水を利用しやすいので出っぱなしなどがないようにしたい。



(電気代のグラフより)

電気代では、過去3年間においてさほど変化はないが、夏や冬の電気の利用の仕方が課題に残る。冷暖房の使い方をさらに工夫し、全校が快適、省エネで学校生活を送れるようにしたい。



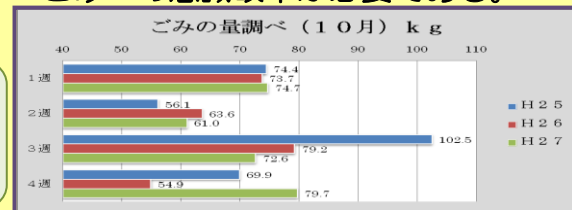
ごみの減量チェック

ごみの量は、前日までの分を次の日の朝から量って調べている。



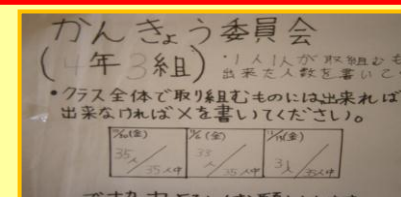
15kgを超えない日があると嬉しくなります。

(ごみの量調べのグラフより) 過去3年間のごみの量を見ても、徐々に減るということではなく、全校のごみへの意識改革が必要である。



クラスの直言文チェック

各クラスで目標への意識を高めるために、目標が達成したかのチェックを行うことを行った。今後も各クラスで環境目標を意識してもらいたい。



4 見 直 し (成果と課題)

環境委員会の見直し

委員会活動時に、全校で活動を行って見えてきたことについての成果と課題を出し合い、次に生かすために考えた。



- 必要ない場所の電気がつけっぱなし
- 運動場へのごみのポイ捨てが目立つ

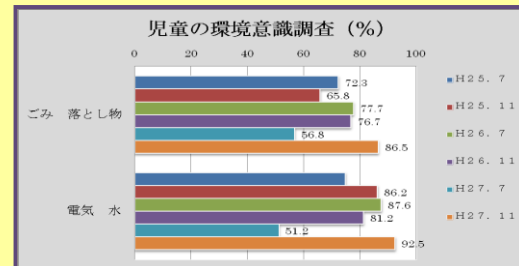
意見に対する手立て



- 放送での呼びかけをしていく
- 昇降口にごみばこを置くといい

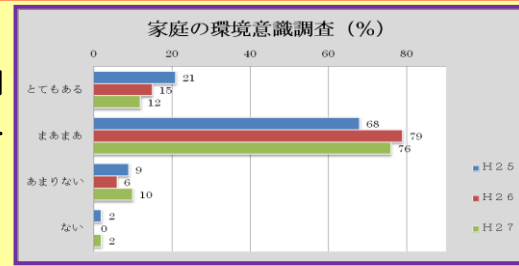
児童の環境意識からの見直し

過去3年間の調査の中では、今年度の伸びが一番大きい。3つのエコステップが全校に少しずつ浸透しているのではないかと考えている。引き続き意識を高めていきたい。



家庭の環境意識からの見直し

環境への意識が「まあまあ」と答える家庭が定着してきた。また、「とてもある」が減ってきている。環境通信等で家庭との連携をさらに深め、環境への意識を高めていきたい。



「水や電気の節約」、「ごみの削減」という本校の基本的な環境活動については意識が高まっている。しかし、基本的な環境活動ゆえにマナー化していることが考えられる。今の活動を大切にしながら、環境活動の「新しい風」を入れていかなければならないと考えている。

ほかにもあるよ！！環境活動！！

ペットボトルキャップ集め

学期に一度、全校に呼びかけて登校後に集めている。たくさんの人が持ってきてくれる。



広西ライトダウン作戦

節電と早寝早起きのため、夜10時までに電気を消して寝ることを呼びかけた。

